

明らかになってきた「河越館跡」(上戸)

国指定史跡・河越館跡は、川越の地名の由来ともいわれている武蔵武士・河越氏の館跡です。河越氏が活躍した平安時代終わりから鎌倉時代(十二世紀後半～十四世紀)ごろの武士の館は調査例が少なく、その構造などがよくわかりませんでした。しかし、河越館跡で昨年までに発見された遺構・遺物により、当時の様子がわかってきました。



河越館跡には、幅四メートルから五メートル・深さ二メートル程度の堀で仕切られた、建物や井戸のある方形の区画がいくつも集まり、区画の間には通路があります。実際に区画の堀の一部が「コ」の字型に発掘されています。また、武士が酒宴で使った「手づくねかわらけ」という素焼きの器・戦火で焼けたと思われる瓦など、戦いの中に生きた、当時の武士の生活がうかがえる遺物も発見されています。



河越館跡の堀跡

この河越館跡の歴史的に貴重な遺構・遺物を守り伝えていくために、史跡公園として整備し、来年度中に一部を開園します。現在、発掘調査で見つかった堀や井戸を立体的に復元する工事を行っています。川越の歴史を体験できる新しい公園の誕生まで、もうしばらくお待ちください。

市税納期のお知らせ

6月は、市県民税第1期の納期です。

忘れずに納付しましょう。

問い合わせ…収税課収税管理担当

TEL224-5686

どんぐり

編集後記

最近、テレビのクイズ番組で難しい漢字の出題が多くなってきたようです。それに触発され、漢字の問題集を買い込み、解き始めました。ところが、見たこともない漢字がいっぱい。意味もまったくわかりません。部首から読み方を考えたり、解答を見て画数の多い字は書き順を想像したりと、まるで推理ゲームのようです▶広報川越の表記は、常用漢字が主体です。なるべく難しい漢字は使わず、情報を正確にお伝えするように努力を続けています。(SHI)

世界の国から、こんにちは!



イラク/ズナド・フセインさん

3年前に生化学を研究するために、日本に来ました。始めは6か月間だけ滞在する予定でした。しかし、日本の文化や歴史が好きになったので、研究を続けながら川越に住んでいます。現在は、汚れた水を安全な水に処理できる、光触媒の物質を開発するための研究をしています。

毎週末、市内を散策するのが楽しみです。桜の季節には喜多院に行きました。花火も大好きなので、夏が待ち遠しいです。川越まつりは、毎年友人と共に楽しんでいます。これからは、日本語をもっと話せるようになりたいです。
*外国籍市民の皆さんを対象にした催しは8ページ・14ページ、相談は18ページをご覧ください。

国際交流課・TEL224-5506